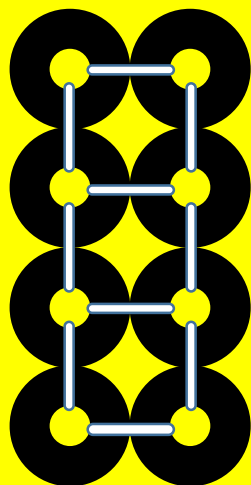


# いかだ作り

## ●いかだ作りの流れ



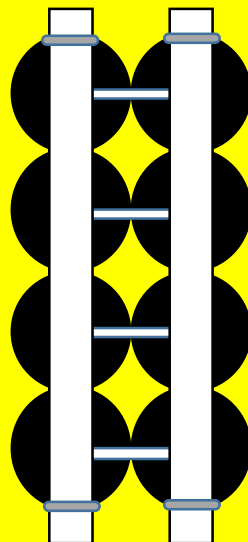
- ① ・湖上プログラム用の服装に着替え、持ち物を確認し、指定された浜辺に集合する。  
※服装：濡れても良い服・ウォーターシューズ（かかとが固定されているもの・クロックスやビーチサンダルは不可）・帽子  
※持ち物：水筒・タオル
- ② ・いかだの材料（タイヤチューブ・板・ロープ・パドル）を、自分たちで準備する。  
※板は長いので、運ぶ際は前後に注意してください。2名で運ぶと良いでしょう。
- ③ ・タイヤチューブを並べ、その上に板を格子状に置き、ロープで固定し縛る。  
※ロープで縛る際、板のささくれがないか注意してください。  
※縛り方がゆるいと、乗っている間にいかだが崩れる場合があります。
- ④ ・ボートハウスにて、自分の身体の大きさに合うライフジャケットを装着する。  
・完成したいかだを湖に浮かべ、パドルを持っていかだに乗る。  
※完成したいかだは重いので、グループで協力して運んでください。  
※パドルを漕ぐ時は、周囲の人に当たらないよう注意してください。  
・時間やコースを決めて、必要であれば交代しながら遊ぶ。
- ⑤ ・時間がきたらいかだを浜にあげ、ロープをほどく。  
・いかだの材料やパドルについた砂を軽くおとし、それぞれもとあった場所に片付ける。



タイヤチューブを並べ  
タイヤ同士を結ぶ。

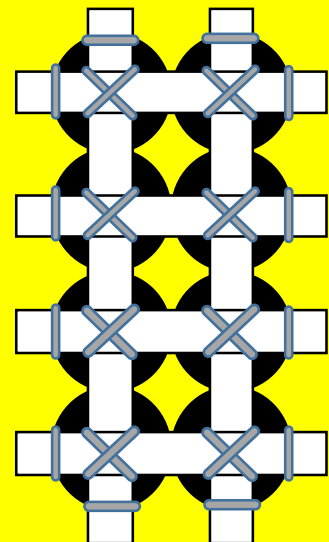


ロープは「本結び」で  
固定する。



長い板を置き、端を  
タイヤと結ぶ。

※タイヤ同士を結んだロープで  
板とタイヤを結んで固定しても良い。



短い板を置き、端を  
タイヤと結ぶ。



クロスして結ぶと  
しっかり固定できる。

## ●作り方・活動のポイント（よりスムーズに進めるために）

- \* 8本のタイヤで、8名～10名が乗ることができます。8本タイヤのいかだは1度に4艇まで作れます。
- \* 説明からいかだを作り終えるまで、約1時間 かかります。  
人数が多く交代が必要な場合は、「2～3グループで1つのいかだを作り、遊ぶ時に交代して乗る」など、できるだけ「いかだを作る作業」が少なくすむよう、学校・団体に調整してください。
- \* 作る作業に入る前に、まず「タイヤの並べ方」、次に「板の置き方」、次に「ロープを縛るところ」をグループで決めさせ、作業を進めてください。
- \* 完成したら、その場で軽くいかだを持ち上げ、頑丈さを確認しましょう。ゆるい箇所があれば、ロープを縛り直してください。
- \* パドルを漕ぐ順番や、行き方、交代のタイミングなど、いくつかの決まり事をあらかじめ確認してから遊び始めると、スムーズにプログラムを進めることができます。

## ●引率者が指導する際、配慮していただきたい点

- \* 服装確認とトイレ確認を済ませ、いかだのグループごとに整列し、そろったらお声かけください。
- \* 集合の際、タオル・水筒などの持ち物は、グループごとにまとめて集合場所以外のところに置いておきましょう。
- \* 交代がある場合、「どのいかだに」「いつ」「誰が乗るか」をあらかじめ決めておき、子どもたちに覚えておくようにさせてください。
- \* スムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方などの工夫をお願いいたします。
- \* いかだを作る際のロープの縛り方に決まりはありませんが、湖上スタッフがアドバイスはおこないます。引率の方もでき具合の確認をしてあげてください。  
縛り方が不慣れな方には、手伝いや声かけをお願いいたします。

